



博物館ニュース「SHÛ」

NO. **46**

“SHÛ” News of Tamagawa University Museum of Education

2016年3月20日

玉川大學教育博物館



目次

展覧会への招待	2
報告	3
資料をご寄贈いただきました	4
新施設紹介	5
開館カレンダー・ 利用案内	6

原智恵子愛奏のピアノ スタインウェイ・アンド・サンズ
(Steinway & Sons 1960年製 製造番号 368400)

教育博物館では、20世紀を代表する世界的音楽家・チェリストのガスパール・カサドと、世界的に活躍した日本人女性ピアニストの草分けである原智恵子夫妻の音楽資料を所蔵しています。資料は、楽譜、図書、雑誌、演奏会プログラム、レコードなどから構成されており、現在、2016年10月の資料冊子目録刊行・データベース公開に向けた準備をしています。また、それらの刊行・公開を記念した特別展、記念シンポジウム、記念演奏会の開催も併せて予定しています。

展覧会への招待

ガスパール・カサド没後50年・原智恵子没後15年記念祭 特別展
デュオ・カサド 今よみがえるチェリストガスパール・カサドとピアニスト原智恵子の世界

1991年秋、20世紀を代表する世界的音楽家・チェリストのガスパール・カサド（Gaspar Cassadó, 1897-1966）と、世界的に活躍をした日本人女性ピアニストの草分けである原智恵子（1914-2001）夫妻の音楽活動を中心とした資料が、当館に寄贈されました。本年2016年は、ガスパール・カサド没後50年、原智恵子没後15年を迎えます。この記念年にあわせ10月に資料冊子目録刊行・データベースの公開を行い、同時に特別展を開催いたします。

この展覧会は、ガスパール・カサドと原智恵子が〈デュオ・カサド〉として演奏活動を行った1962年から1966年を中心に、音楽家としてのそれぞれのあゆみと二人に関係する人々を交えて構成いたします。展示により、スペイン人のカサドと原智恵子の残した功績、そしてイタリアで暮らしながら、ヨーロッパを中心に活動した〈デュオ・カサド〉の足跡を紹介することを目的としています。

一部ではありますが、所蔵音源資料による試聴も予定していますので、会場内では夫妻の息のピッタリとあった音楽を聴くことができます。そのほか、特別展期間内には、学芸員によるギャラリートークや、ミニコンサートも予定しております。

皆様のご来館をお待ちいたしております。

【展示資料の一部】

楽譜（出版譜・手稿譜）／演奏会プログラム・ポスター／演奏レコード／図書／雑誌／ガスパール・カサド・コンクール（フィレンツェ）資料／手紙／写真／原智恵子愛奏のピアノ／勲記 など



ガスパール・カサドと原智恵子



カサドの手稿譜

カサド作曲

「Sonata en el estilo antiguo Español :
para violonchelo con
acompañamiento de piano
(スペイン古典様式によるソナタ)」

◆会 期 2016年10月17日(月)～2017年1月22日(日)

◆時 間 9:00～17:00 (入館は16:30まで) 入館無料

◆ミニコンサート 11月13日(日)、1月15日(日) 会場：玉川学園中学年校舎講堂

◆休館日、ギャラリートークの日程、コンサート開演時間等は、後日正式決定しますので、詳細は今後当館ホームページやチラシ等でご確認ください。

本展のほか、ガスパール・カサド没後50年 原智恵子没後15年記念祭で、次の行事を予定しています。

◆〈記念シンポジウム〉※カサド作品の試演付き

2016年10月22日(土) 会場：University Concert Hall 2016

◆〈記念演奏会〉没後初・夫妻使用の楽器共演—G. カサドのチェロと原智恵子のピアノ—

2016年10月23日(日) 会場：University Concert Hall 2016

報 告

「山下りん・日比和平が描いたイコン」展

2015年10月5日から23日まで、特別展示「静岡ハリストス正教会寄贈 山下りん・日比和平が描いたイコン」を開催しました。

山下りんの作品は、剥落止め、画面の洗浄、過去の補彩の除去等の修復を行い、日比和平の作品についても、画面の洗浄を行いました。これにより、描かれた当時に近い状態で鑑賞できるようになり、また、その作業過程についてもパネル等で紹介しました。

山下りんは、日本でイコンといえばまずその名が挙がるほどの存在で、また、教会では壁に固定されていて、これまで展覧会等への出品歴がない作品ということから、注目を集めました。3週間弱の会期中、994名の入館者がありました。会期中に3回実施したギャラリートークも、毎回盛況でした。

会期中の10月14日には、寄贈者である静岡ハリストス正教会の関係者16名が来館されました。寄贈された山下りん・日比和平作のイコンが、修復されて当館のイコンコレクションと共に展示されたのをご覧になり、大変喜ばれ、当館が長年教会で大切にしてくられたイコンの新たな落ち着き先となったことに、安心していただきました。

展覧会にあわせて、寄贈作品20点の画像を収録した小冊子を作成し、ご来館いただいた方に配付しました。



展示風景

「錦絵にみる子供の遊び」展

2015年11月2日から12月19日まで、「ミュージアム・コレクション展2015 錦絵にみる子供の遊び」を開催しました。会期中819名の入館者がありました。



ギャラリートーク（11月13日）

幕末維新期の政治状況を子供の遊ぶ姿を借りて諷刺した作品や、明治中期の風俗画のシリーズ等を中心に構成しました。前者については、諷刺画として他館でも展示されてきましたが、子供の遊びそのものに着目した展示は、当館独自の切り口であったと思います。会期中5回開催したギャラリートークでは、学芸員が遊びの内容の解説や、諷刺の読み解きを行いながら、参加者にじっくりと作品を見ていただくことができました。

11月23日に、展示作品に描かれた昔遊びを体験する、小学生とその保護者を対象としたワークショップを開催しました。町田市レクリエーション連盟の脇恵先生、町田市・こひつじ保育園の矢島英男先生を講



ワークショップ（11月23日）

師に迎え、竹馬づくり等を行いました。こうした催しは当館では初の試みで、14組（小学生19名・保護者15名）の参加者からは好評を得ました。

この展覧会の図録（A4判56頁）を、1000円で販売しています。

保利耕輔氏から広瀬淡窓の資料寄贈

元衆議院議員で文部大臣等の要職を歴任された保利耕輔氏から、広瀬淡窓の漢詩の掛軸と、西郷隆盛の書簡の掛軸をご寄贈いただきました。淡窓の書幅は、その遠縁の廣瀬正雄氏から、保利氏の父で元衆議院議長の保利茂氏に贈られたものとのことです。廣瀬氏は、かつて玉川学園の機関誌に淡窓に関する文を寄稿し、その抜刷が掛軸の箱と一緒に入っていたことから、今回の寄贈につながりました。

分室開設に伴う移転作業

第3収蔵庫及び学園史料担当の事務室を中心とする当館の分室の設置に向けた改修工事が完了し、2016年1月20日から2月4日にかけて、新設の第3収蔵庫に資料等を搬入する引っ越し作業を行いました。館員総がかりで対応したほか、引越業者からも連日20名超、延べ200名以上の作業員を動員しての大仕事でした。

かけがえのない博物館資料の引っ越しという、大変神経を使う作業でしたが、事前準備に約1年をかけ、資料の梱包や配架の棚割り等の検討を進めていたこともあり、

大きな混乱もなく無事終了することができました。

博物館実習

2016年2月7日から12日まで、本学通信教育部の「学芸員スクーリング」が開講され、合計41名が受講しました。実習生たちは、資料の取り扱い方法、当館の展示室での模擬展示等の実技や博物館における各種実務について、熱心に受講していました。



美術資料の模擬展示

統計（2015年4月～9月）

開館日数	119日	入館者数	2458名
収集			
〔資料〕	日本教育史	10件	
	芸術	1件	
	玉川学園関係	6件	
〔図書〕	和書	247冊	洋書0冊
〔定期刊行物〕	和雑誌	33冊	
	洋雑誌	19冊	

資料をご寄贈いただきました（順不同・敬称略 2015年8月～2016年1月）

有限会社時津画廊 日比和平関係資料 148点

保利 耕輔 広瀬淡窓筆蹟・西郷隆盛書簡 2幅

木村 和子 教育史関係資料 1点

野間 輝一 同窓会報 1点

伊藤 禮子 教育史関係資料 2点

杉山 武敏 同窓会報 1点

ありがとうございました

新施設紹介 教育博物館分室の開設

これまでの経緯

当館は、1987（昭和 62）年に現在の施設に移転開館して 30 年近くが経過し、その間、所蔵資料は毎年増加し、博物館内の 2 つの収蔵庫（約 240㎡）の狭隘化に以前から頭を悩ませてきました。そこで、古い校舎の空き教室をいくつか確保し、仮の収蔵スペースとして使用してきました。

また、1994（平成 6）年には、学園の歴史資料を収集整理する学園史料担当部門が、図書館から当館に移管されました。こちらの事務室・資料保管庫は、学内に所在する学園創立者小原國芳の旧宅「小原記念館」内に置かれてきました。85 年以上にわたる学園史を扱う業務の性格上、創立者の旧宅はゆかりの深いものですが、開校間もない時期から使われてきた木造住宅建築で、火災や保存環境の面で不安のある建物でした。



分室外観



資料配架状況

分室設置の計画

上記のような収蔵スペースの不足と、万一の災害に対する不安を解消するため、数年前から収蔵庫を増設する計画が立てられ、2015（平成 27）年度にそのための特別予算が認められました。これは、大学図書館（現大学教育学術情報図書館）が新設の建物に移転した後、半地下の旧図書館書庫（研究・管理棟地階）を当館の分室（収蔵庫及び学園史料担当の事務室等）に改修するというものです。以後、教育博物館と施設担当者とで度重なる打ち合わせを行い、博物館収蔵庫にふさわしい環境となるよう、空調設備の更新等の計画を練り上げてきました。図書館の移転が完了した 2015 年 5 月から耐震補強と改修工事が始まり、秋の工事完了後に換気を行い、年明けに施設の引き渡しを受けました。

施設の紹介

分室には学園史料担当部門の事務室のほか、外部研究者等が資料調査の際に使用する専用の閲覧室と、資料整理等を行う作業室も設けられました。施設の中核である新設の第 3 収蔵庫（約 385㎡）は、フィルム室、貴重資料室、一般資料室からなっています。収納する資料の形状が図書だけでなく、立体のモノ資料もある点で収納方法を工夫する必要がありますが、旧図書館時代の電動集密書架をそのまま活用することで、収蔵スペースを効率的に使用しています。

今回の分室の設置により、収蔵庫の狭隘化と保存環境の問題は大きく改善され、また、機能の集約により、執務上の不便も減らすことができました。今回整備した施設を活用し、今後の博物館活動をさらに充実させていきたいと考えています。

2016年度上半期 開館カレンダー

2016年 4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

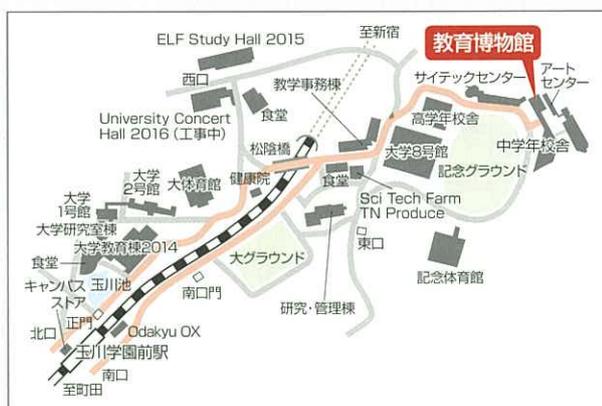
9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

休館日

第1展示室(日本教育史常設展示)のみ公開

※ この予定は、大学授業・行事日程等により変更することがあります。
詳細は当館ホームページをご覧ください、電話等にてお問い合わせください。



交通手段

小田急線「玉川学園前」駅下車 徒歩 15分
駅南口を出て、線路沿いの道を新宿方向に進むと、玉川学園の校門(南口)に行き当たります。博物館の建物の位置は、校門の案内所でお尋ね下さい。

(来館者用駐車場はありません。また校内での園児・児童・生徒・学生の安全のため、お車での来館をご遠慮下さい。)

利用案内

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日 日曜日・土曜日・祝休日・玉川大学の定める休日・展示替期間
(展覧会会期中並びに日曜日・土曜日及び祝休日に大学の通常授業や学校行事が行われる場合、当館も臨時に開館することがあります。詳細はお問い合わせください。)

入館料 無料

博物館ニュース SHŪ No.46

2016年3月20日

編集・発行 玉川大学教育博物館

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

TEL 042-739-8656 FAX 042-739-8654

www.tamagawa.jp/campus/museum/

『SHŪ』とは『集』、さまざまな「集められたもの」をめぐり、多くの人々の「集いの場」になることを目指して名づけたものです。